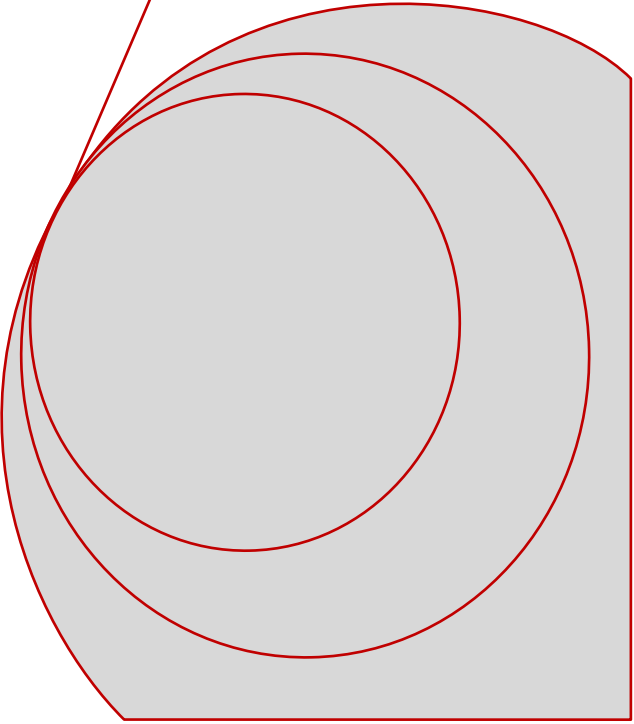
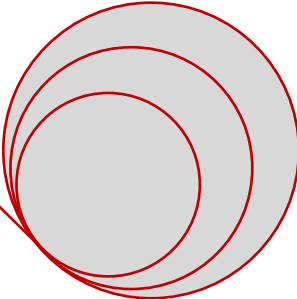
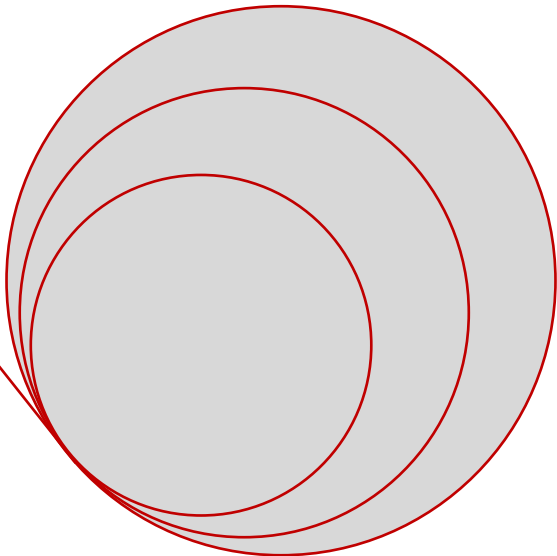


第4編 計画の推進



1. 総合計画の推進に向けて

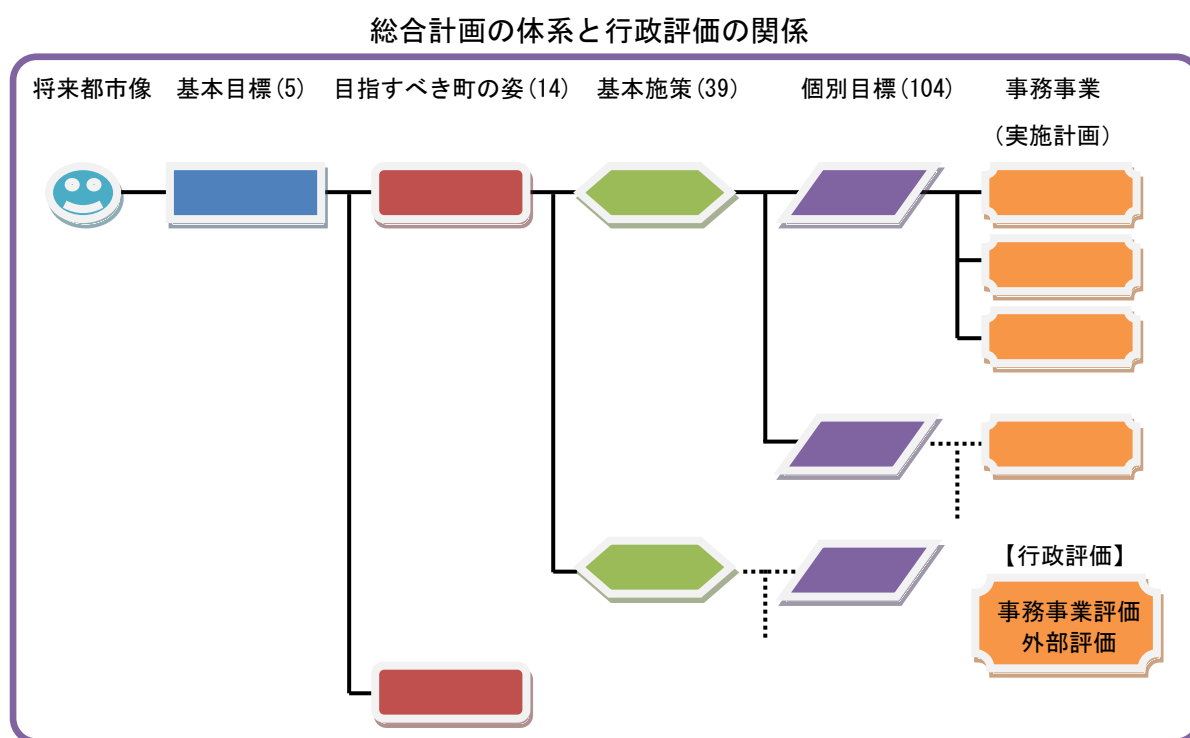
基本構想で掲げた基本目標 5「町民が主役のまちづくりと効率的で信頼される行財政運営」は、総合計画全体の共通目標です。効率的・効果的な行財政運営に努め、町民が主役となるまちづくりを町民と協力して進めることが、各基本目標の達成に結びつくものと考えます。

「基本計画」における各基本施策・個別目標においても、基本目標 5 の町民主体のまちづくり、効率的で信頼される行財政運営の視点に立って推進します。

また、町の将来像の実現に向けては、行政だけでなく町民や事業所なども町の将来の危機（人口減少や地域経済の衰退など）を理解し、それを乗り越えるための将来計画（総合計画）を理解していくことが必要です。そのためにも、お互いの情報の共有化や協働の推進、地域の人財を活用する取り組みなどを進め、着実に推進していきます。

2. 目標の達成

「基本目標」「目指すべき町の姿」の体系に連なる 39 の「基本施策」を設定し、それぞれの基本施策における 104 の「個別目標」に取り組むことで、体系化された目標の達成を図っていきます。



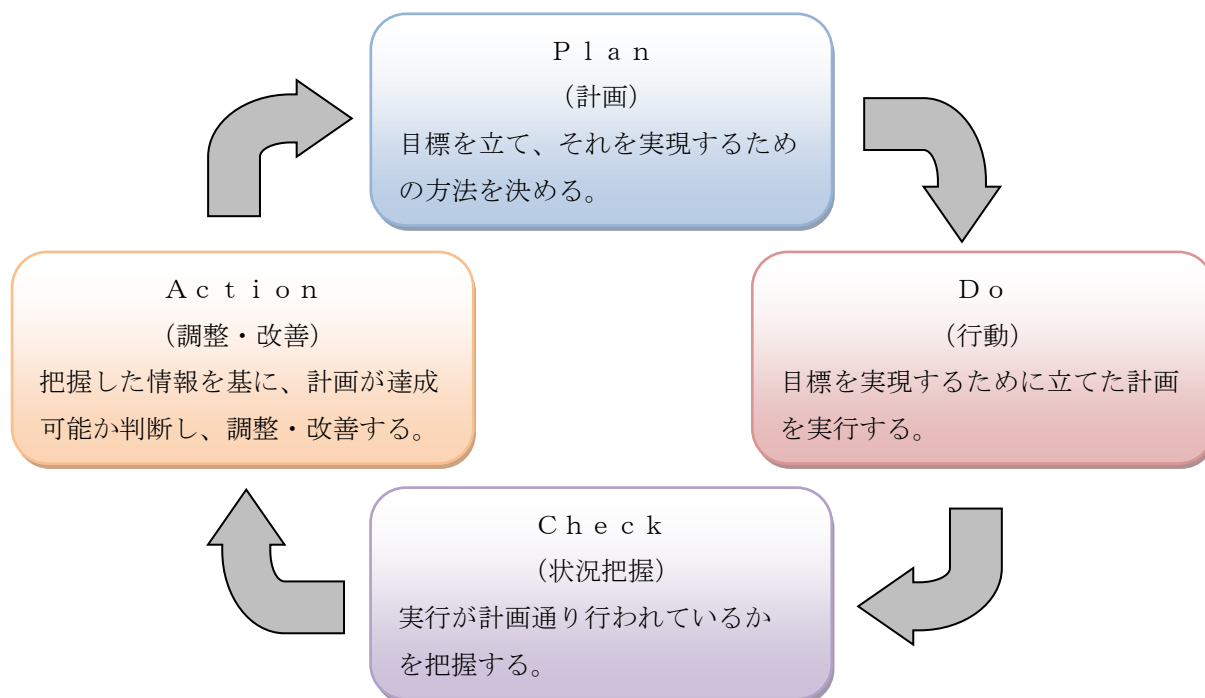
事務事業評価：すべての事務事業について、必要性・効果などを客観的に評価し、その結果に基づき、継続・改善・廃止等事業の見直しを行います。

外部評価：町から委嘱された委員（学識・公募）が、各種事務事業の必要性などを町民目線で評価・検証し行政サービスの向上を図るもの。さらに評価内容は、町民の意見として予算編成に反映させていきます。

3. PDCAサイクルによる計画の推進

本計画の推進にあたっては、町民の理解と協力が不可欠です。また、計画の進行管理や達成度の検証を行うことが必要です。

そのため、副町長を委員長とする「高鍋町事務事業評価委員会」及び民間の有識者等からなる「高鍋町外部評価委員会」を中心に、毎年度の進捗状況や費用対効果の検証を行うなど、「計画（Plan）」「実行（Do）」「評価（Check）」「見直し（Action）」という一連の流れ（PDCAサイクル）を繰り返しながら、計画の着実な推進を図っていきます。



4. 計画の見直し

PDCAサイクルにより評価を行う以上、計画の見直しは必要不可欠です。計画の定期的見直しのほか、町民提案などにより計画を見直すことができる仕組みをつくります。

なお、見直しは次のようなケースに行います。

(1) 実施計画に合わせた見直し

毎年度の事務事業評価の結果に基づき実施計画を見直す必要が生じた場合。

(2) 町民提案による見直し

町民や行政が計画進行の過程で、その内容と現状に差異を感じた場合、または、新しい施策や事業を行うために計画変更の必要が生じた場合。

(3) マニフェストによる見直し

町長が選挙において掲げた公約（マニフェスト）の内容により、計画の内容を変更する必要が生じた場合。

(4) 法令改正等による見直し

法令や条例等の制定・改正に伴い、計画を変更する必要が生じた場合。